

朝明中学校通信 第 20 号	和 学 鍛	令和 4 年 2 月 21 日 発行：朝明中学校長
------------------------------	--------------	---

さくら さ まえ こうき た
桜 咲く 前より 紅気 立ちこめて

桜の花が咲く前に枝々を見ていると、そこに紅い空気が立ちこめている。その紅気は桜の花の色の先走りで、それがあらわれているのを感じ取った一句です。

暦の上ではすでに春を迎え、あとひと月余りで全国から桜の便りが届き始める季節になってきました。3年生は卒業まであと2週間、まさに今から咲こうとしている桜のように、全身にそのエネルギーが満ち満ちていることでしょう。

ちなみにこの句の作者は、昭和を代表する俳人で、朝明中学校校歌作の作詞者でもある、山口誓子（1901～1994）です。戦前から戦後にかけ、四日市市の富田で病氣療養をし、この地にもゆかりが深い俳人誓子の企画展『山口誓子と四日市』が2月15日より3月20日まで、四日市市文化会館で開かれています。ここでは、朝明中の校歌も紹介されています。





学校ではいよいよ年度のまとめの時期に入りました。3年生は私立高校の結果や県立の前期選抜の結果もほぼ出そろい、3月に控えた県立後期選抜に向けての三者懇談会（17～18日）が行われました。関係する保護者のみなさまにはご多忙の中、またお時間をおとりいただき、ありがとうございました。

1、2年生は学年末試験（22日～25日）が始まります。しっかり1年間のまとめをして、確実に学力を定着させてくれることを期待しています。

また、22日（火）には、新入生の保護者説明会があります。春はすぐ目の前です。

令和4年度の修学旅行は・・・

来年度（現2年生）の修学旅行は6月初旬の実施に向けて、2年前から新幹線の予約をして、これまでに担当学年を中心として、主に東京方面への旅行を計画してきました。しかし、いまだに新型コロナウイルス感染症が収束の兆しを見せない現状と今後の見通しも考え、生徒のみなさんが安全に東京方面への修学旅行を実施することが難しい状況であると判断せざるを得ません。

また、本年1月に市教委より、令和4年度の修学旅行の実施について、「移動は貸し切りバスを使用し、目的地は貸し切りバスで移動可能な範囲とする」「目的地、および宿泊地については、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みた上で感染リスクの低い場所に設定する」「今後の感染状況によっては、変更・中止の要請をする場合もある」といった指針が出されており、市内の中学校は新幹線での東京方面の旅行はその計画を変更する運びとなりました。

修学旅行は3年間の最も大きな行事のひとつとして、何としても実施したいという強い気持ちでいますが、やはり、安全・安心面を第一に、考えられる最善の方法をとるべく、担当の旅行業者とも連絡を密にしながら行先の調整をしているところです。

該当学年の生徒のみなさん、保護者の方々には、ご心配をおかけしますが、感染状況の動向を注視しながら、慎重かつ念入りに計画を立てて参ります。詳細につきましては、追って学年からお伝えしますので、何卒、ご理解いただきますようお願い申し上げます。



『すぐメール』がかわります

これまで、四日市市の小中学校で、緊急連絡等に使用されていた『すぐメール』が、本年4月から新しいものになります。従来の一斉連絡、緊急連絡だけでなく、専用のアプリで、お便りの配信やアンケート調査、日々の欠席連絡なども可能になる予定です。新たに登録する必要がありますので、詳細については、後日、市教育委員会から案内があり次第、お知らせします。